

平成28年度第2回鹿児島市地域情報化推進委員会概要

- 1 開催日時
平成28年11月22日（火） 11:00～11:50
- 2 開催場所
鹿児島市役所東別館9階特別中会議室
- 3 出席者
(1) 委員8人
(2) 事務局5人（総務部長、情報システム課長、情報システム課3人）
- 4 会次第
(1) 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について
(2) その他
- 5 議事の概要

発 言 者	議 事 内 容
	(1) 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について
事務局	事務局から資料の説明
委員	質疑応答
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 無記名回答ということだが、どの地域とかどういう利用率の方が回答しているかわかるのか。 ● 各質問項目について地域別の回答状況を今回の資料では示していないが、集計したクロス集計的な結果を今後精査して公表したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送配布した調査票の郵送回答と電子申請での回答の割合はどうだったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 電子申請での回答は99件。前回23年度の調査では24件だった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告書に郵送回答だけでなく電子申請がどれくらいあったか入れた方がいい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 桜島地域のインターネット普及率が低い。どの世代が回答しているというものが地域別にもあった方が、桜島のブロードバンドが進んでいないから低いのか、それとも高齢世帯の回答が多いから低いのかかわかるのではないか。桜島は特に防災の観点から参考になる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 5年でインターネット利用率が上がっている。50代以上の回答者が半分以上を占めているにも関わらず、こういう値が出ていることに驚いている。60代、70代でも身近になってきていると思う。その中で電子申請での回収が99件というのは、意外と少ないと感じた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 内容精査中の自由意見の部分は、いつ頃どうやって見ることができるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由意見をいくつかのカテゴリに分類して載せたいと考えている。今年度中には精査し、ホームページなどで公表したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 参考の資料としてあればいいと思うのだが、スマートフォンが普及しているとあったが、私は従来型の携帯電話の種類が減り買いたいものがなくなったためスマートフォンにした。市場での商品群の変化や選択肢の変化が普及にかなり影響を及ぼしていると感じている。そういう経済的な要因というのも人間の行動に影響があると思うので、そういう歴史的背景というかあると面白と思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンを使う人が今までと同じくらいいるのかと思った。タブレットが普及しているし、仕事をする人でなければパソコンは必要ない。タブレットやスマートフォンで検索などの方がパソコンをわざわざ起動するよりは手間がかからないし、早い。市のホームページもパソコン版とスマホ版を用意されている

委員 事務局	<p>が、情報の早い流通ということで考えると、地震など災害情報はスマホ版でもっと情報を伝えることが必要だと思う。情報提供については、近い将来、パソコンからスマホに軸足を変えていくことを考える必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマホでは画面を開くとすぐアクセスできるウィジェットというのがある。そういうものを作っているのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみの回収日や分別方法などをお知らせするアプリを作ってごみの減量につながるような取り組みもしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● ポータルみたいな感じでアプリ、ウィジェットから入って市の情報を見ることが近い将来実現できればいいと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 市のサービス利用の質問について、市立図書館の蔵書検索を利用しているという回答があったが私は知らなかった。図書館に行く機会が多いのでホームページで検索するのはとても便利だと思ったが、この 8.0%という回答ではまだ浸透しきれていないのかなとも思ったので、もう少し若者の目につくようなものがあればいいと思った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校でタブレットを使って授業することがあるが、小中学生のタブレットの利用について不安を感じるという回答が保護者は多かった。家庭に対する支援をしているのか気になった。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者に向けた講演やセミナーのような形でスマートフォンなどを使う際の注意事項などには取り組んでいる。不安を感じるという方も多いので、教育委員会にも情報を共有してそういう取り組みを進めていければと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット利用者の中でダイヤルアップによる接続という回答がまだあって驚いた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 市のサービスで健康医療の情報化の充実というのが出てくるが、漠然として具体的なことはよくわからない。自由意見の中からピックアップできれば出していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの利用について不安を感じている率がかかなり高いとのことだったが、親はインターネットを利用することに不安を感じているのか、子どもがのめり込んで勉強しないとか、最近はSNSでいじめられて疎外感を抱くとかいう話を聞くのでそういうことへの不安なのか、不安ですかという質問では何に対する不安かまではわからない。可能ならそういうことも次は質問できたらと思う。子供は、インターネットを勉強だけではなく遊び等にも使うと思うので、学校では利用の仕方を上手に指導するような教育方法を考えた方がいい。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会でもアンケート調査しているのではなかったか。 ● 教育委員会でも調査しているので意見等を共有し、今後の調査や施策の参考にしたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット安全教室を県内各地の小学校等で行っている。子どもはパソコンの操作などが上手いが親はわからなくて、どう指導したらよいかという意見が出る。セキュリティや使い方にすごく不安があるみたいだ。次期計画を立てる中で、セキュリティ教育みたいなことを学校だけでなく市全体でできるようなものをやったらいいのではないかと思う。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育委員会とも連携したい。 ● SNSの利用率はLINE、フェイスブックの順で、スマホやタブレットも普及している。鹿児島市ではフェイスブックの活用にも取り組んでいると聞いているが、それをもっと進めそういったことから市のホームページに興味を持っていただけるような、それからQRコードを市の広告物にも載せてすぐ検索できるとか、そういうことをやれば今回の調査結果が活かされると思う。鹿児島

委員	<p>市もそういう取り組みをされているということなので、積極的に進めていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">● 学生はフェイスブックをあまり使わないが、LINEをよく使う。そういうことを考えると若年層とそれ以外で使い分けるといいのかなという気がする。
----	--